

柏葉会第92回定期総会報告

柏葉会第92回定期総会は、2025年5月25日（日）午後1時から、母校県立川崎高校視聴覚ホールにおいて出席者48名で開催されました。

総会は、加藤孝夫副会長（第41回生）の進行で始められました。

開会の挨拶は、平井昭信副会長（第45回生）が行いました。「川高が創立されて今年で98年、同窓会の柏葉会は92回目の総会を迎えましたが、2年後には創立100周年になります。今年は20回目を数える青春かながわ校歌祭の実行委員長校として準備を進めています。本日の総会は、第一部総会の他、第二部では恒例の記念講演会、第三部では初めて在校生の軽音楽部とOGによる演奏会があります。長くなりますが最後までお付き合い願えればと思います。」と話しました。

続いて高木嗣朗会長（第40回生）から挨拶がありました。「昨夜来の雨が心配だったが10時頃から雨も上がり安心しました。今年は渡田の地に川高が設立されて98年、2年後に100周年を迎えますが、生徒、OB・OG、地域のみなさまとで盛り上げていきたいと考えています。また、今年は第20回となる校歌祭の実行委員長校になっていますのでみなさまからのご協力をいただければと思います。通年行事として、文化祭（輝葉祭）への参加、秋の柏葉交流会なども企画しています。そちらへのご参加もお願いいたします。今回は役員改選期にあたります。新たな方を役員、常任幹事に加えていきたいと思いますので、真摯なご審議をお願いします。」と話しました。

続いて、学校を代表して斎藤昇副校長からご挨拶をいただきました。「本来なら外崎校長からご挨拶を差し上げるところですが、あいにく外崎校長は剣道の試合で寒川町にいて参加できませんので、代役としてご挨拶します。4月に着任したばかりですが、同窓会、卒業生のご活躍を多く伺っていますので、緊張しています。ある先輩から昔は校舎と校庭の位置が逆になっていたと聞いて学校の歴史を感じました。同窓会からの支援により100周年実行委員会ができたことに感謝していますが、そのバトンをさらに続く現役の生徒に渡すようなものになればと思っています。」と話されました。またご出席された千葉大介全日制教頭からのご挨拶をいただきました。

続いて議長選出に入り、会場からの立候補を求めましたが手が上がりませんでしたので、あらかじめ役員会からお願いしていました秋山誠常任監事（第41回生）を推薦し、拍手で承認されました。以後秋山議長のもとで議事が進みました。

第1号議案 令和6年度事業報告を浦山和博事務局長（第40回生）が議案書に基づき報告し、質疑を求めましたが意見はなく、拍手で承認されました。

第2号議案 令和6年度決算報告を内山俊幸会計（第45回生）から説明があり、また 第3号議案 令和6年度会計監査報告が岩越節子会計監査（第33回生）からあり、質問はなく、拍手で承認されました。

第4号議案 令和7・8年度役員・常任幹事（案）が議長から示され、異議はなく拍手で承認されました。その後、再任された高木会長から、役員の紹介、そして新任常任幹事が紹介されました。

第5号議案 令和7年度事業計画（案）が浦山事務局長から提案があり、意見がなく拍手で承認されました。

第6号議案 令和7年度予算（案）が内山会計から提案され、意見がなく拍手で承認されました。

議事が終了し、秋山議長が解任されました。

閉会の挨拶を、板橋洋一事務局次長（第42回生）が行い、100周年記念募金へのご協力をお願いし、第一部総会を終了しました。

第二部の記念講演会の準備の間休憩が入り、第20回青春かながわ校歌祭で総合司会をお願いしている田代賢一さん（第43回生）元NHKアナウンサーの紹介があり、明朗な話し方に加え、今や伝説となっているご自身が行った大相撲の横綱貴ノ花と横綱武蔵丸の優勝決定戦の実況放送、「貴ノ花が勝ちました。鬼の形相であります。」が披露され、感嘆の声が上がりました。

再び、加藤副会長の進行により、第二部が始まりました。

記念講演は、李省展（い・そんじょん）恵泉女学園大学名誉教授（第41回生）、現国際日本文化研究センター

客員教授による「在日コリアンの歩みと川崎―共生社会の実現をめざして」です。

在日コリアンとして、幼少期に受けたいじめの体験、日立就職差別問題、先進的な自治体川崎の中での多文化共生を目指した活動についてのお話しでした。講演の詳細につきましては、別途報告に譲ります。

講演会の後、出席者全員で記念撮影が行われました。

続いて第三部お楽しみ演奏会が行われました。

軽音楽部の現役女子生徒によるギターソロ演奏、そして女子生徒3人によるギター、ベースギター、ドラムスのバンド演奏、さらに軽音楽部卒業生元根ひなたさん（第91回生、フレキシブル第18期生）によるライブ演奏がありました。

青春真っ只中のエネルギッシュな演奏の中にも、悩みや喜びなどの感情をぶつけ、成長していこうとする歌に、オールド同窓生も若さへの郷愁を感じて手拍子で応え、ホールにハードな音楽が響きわたりました。

今年の総会も、和やかな雰囲気の中に全日程が終了しました。